

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
豊凶考照試験		一〇		一六		八〇〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		八		九五		二、二二〇
耕種に関する試験及調査		二		一九		三四五
計		二二		七		一五〇
其の他の試験及調査		三		一三七		三、五一五

當地方に於ける本年の氣候は、五月中旬より六月中旬に至る間は平年より稍低溫を示せる他概して高溫なりしも、六月中は乾燥せる天候を持続せり。爾後適濕ありて平順に經過するを得たり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物は早害を蒙り、就中裸麥及亞麻の被害著しく減收するに至りしも、其の他の作物は被害少なく、爾後の作況良好にして増收を示せり。秋收作物も多少早害を認めたるも微害に止まり、生育順調に進み登熟極めて良好なるを得たり。尙本期間に於ける病害蟲の發生を見るに、水稻に稻熱病及稻泥負蟲、麥類に赤銹病及ムギヒゲナガアブラムシ、燕麥に赤微病、大豆にタイヅクキタマバヘ及大豆莢蠹蟲、馬鈴薯に濕腐病、亞麻に亞麻立枯病、甜菜に夜盜蟲及シロオビノメイガ、クロトパー類にウリハムシモドキノ幼蟲等の發生を見たるも大なる故障を認めざりき。

- 本年度施行せる種類左の如し
- 一 豊凶考照試験（水稻、裸麥、秋播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻）
 - 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播大麥、大豆、小豆、馬鈴薯、菊芋）
 - 三 産地別による水稻品種特性調査
 - 四 水稻苗仕立法に関する試験
 - 五 採種用黄花ルーピン播種期節試験
 - 六 適否試験（ミブヨモギ、苧麻、ルーサン）

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
品種改良に関する試験及調査		一		一四		一四〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
品種改良に関する試験及調査		四		五九		一、一八〇 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査		四		四五		二、〇五〇
計		八		一〇四		三、二三〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種試験（稗、飼料用ビート、飼料用蕪菁、牧草）

- 二 玉蜀黍培土に關する試験(子實用、飼料用)
- 三 飼料用玉蜀黍播種期節節試驗
- 四 飼料用玉蜀黍收穫適期に關する試験

四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
三要素適量に關する試験及調査	一		五〇				一、〇四七
肥效に關する試験及調査	二		一五				四二二
計	三		六五				一、四六九

本年度施行せる種類左の如し

- 一 馬鈴薯對三要素適量に關する試験
- 二 水稻對トーマス燐肥肥效比較試験
- 三 綠肥用黃花ルービン間作試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 馬鈴薯對三要素適量に關する試験

當地方普通地に於ける馬鈴薯に對し、三要素の適量を査定し、以て施肥の標準を定めんが爲行ひたるに、馬鈴薯は窒素、燐酸共に其の施用量増加するに隨ひ收量並に收益増加するを認めたり。尙之が残効は年により、又は施用量の間に一定の傾

向を認め難きも、窒素、燐酸共に概して大ならざるを示せり。

五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
病害蟲に關する試験及調査	三						

本年度施行せる種類左の如し

- 一 夜盜蟲類發生豫察に關する調査
- 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(蔬菜及花卉)

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる普通作物、特用作物、蔬菜、花卉等を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水陸稻	二九〇	蕎麥	一一・五
陸稻	一〇〇	大豆	三〇〇
小麥	〇・六	小豆	一六〇
燕麥	二七〇	薯蕷	一四・五
蜀黍	三六〇	菜種	二八・〇
玉蜀黍	九・七	黃花	二八・〇
稗	七・〇	ルビ	

三 農事指導

講習講話會、實地指導、其他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せしものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は四七五人なり。

第四 其他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其他の爲場員の出張せるは、農林技手一六回七二日、助手四回一二日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送三九四件、接受四五五件なり。

三 用地の整理

既設排水溝の浚渫を行ひたり。

日高試作場

第一 模範經營

本經營は、從來農事試験機關に於て得たる基礎的試験及調査の成績を綜合し、水田一町歩、畑四町歩に對し合理的農業經營法を立案し、農家をして實際に之が經營を行はしめ、以て地方農家に範を示すと共に農業經營改善の資に供せんとするにあり。而して本年の氣候は六月及七月に於て一時天候適順を缺きたる外は概して良好に經過したるを以て、各種作物共作況良好なるを得たり。之を附近農家のものに比すれば、合理的經營を行ひたる結果其の成績優るを示し、地方農家を裨益せるところ尠からざりき。

第二 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一一		一六		六六〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		八		七六		二、五七四
耕種に関する試験及調査		八		五五		一、一一〇
適否に関する試験及調査		五		六四		一、七四九
計		三二		二一一		六、〇九三

當地方に於ける本年の氣候は、融雪期半年に比し早く、融雪後の天候亦良好なりき。然るに六月上旬より七月中旬に至る間は適順ならず、一時憂慮せられたるも、間もなく天候全く回復し、爾後極めて平順に経過せり。氣候前記の如かりしを以て各種作物共順調に生育成熟を了し、收量は孰れも半年に比し増収を示したり。病害蟲にありては、水稻には稻泥負蟲、裸麥に茶紋病、小麥に小麥赤銹病、馬鈴薯に馬鈴薯疫病、甜菜には甜菜褐斑病及蛇眼病等の發生ありて孰れも多少の被害を認めたり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯、甜菜）
- 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播大麥、春播小麥、燕麥、大豆、小豆、馬鈴薯）
- 三 燕麥播種量試験
- 四 輪作法に関する試験（燕麥、大豆、馬鈴薯）
- 五 水稻苗仕立法に関する試験
- 六 水田稗移植時期に関する試験
- 七 播種期節試験（春播菜種、秋播菜種）
- 八 適否に関する試験（稗、薄荷、ミズヨモギ、蔬菜、果樹）

右の内本年完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 燕麥品種選抜試験

當地方に適する優良品種を知らんが爲、七品種を供用して行ひたるに、「早生燕麥一號」及「早生燕麥二號」は出穂期、成熟期共に他に比し早く、且年による豊凶の差少なく品質亦優良なるを以て當地方の適品種と認めたり。

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		一		一二		三三〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 品種調査

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査	二		三七		六六〇
耕種に關する試験及調査	六		八二		一、一八八
肥料に關する試験及調査	二		二〇		三三〇
其他の試験及調査	一		八		一一六
計	一一		一四七		二、二九四

本年度施行せる種類左の如し

- 一 牧草品種試験(禾本科、荳科)
- 二 牧草播種期節試験(チモシー、赤クローバー)
- 三 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 四 牧草收穫期試験(チモシー、赤クローバー)
- 五 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
- 六 青刈作物適否試験

四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に關する試験及調査	一		一五		一九四

其他の試験及調査

計 二一 一二 二七

三九七 五九一

本年度施行せる種類左の如し

- 一 燕麥對三要素適量查定試験
- 二 水稻對堆肥用量試験

五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲防除に關する試験及調査	一		四		一三
其他の試験及調査	五		四		一三
計	六		八		二六

本年度施行せる種類左の如し

- 一 稻苗腐敗病防除に關する調査
- 二 稻熱病に關する調査
- 三 稻泥負蟲に關する調査
- 四 大豆莢蠹蟲に關する調査

- 五 地方重要農作物病害蟲に關する調査
 - 六 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査 (蔬菜及花卉)
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 稲苗腐敗病防除に關する調査
 - 稚苗二、三分及五、六分のとき二回六斗式ボルドウ合劑を撒布せるものは發病最も少なく、稚苗二、三分のとき一回六斗式ボルドウ合劑を撒布せるもの之に亞ぐを認めたり。

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる各種作物、花卉、蔬菜、果樹等を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水稻	一〇〇〇 <small>担</small>	飼料用玉蜀黍	一三〇 <small>担</small>
春麥	一〇〇	大豆	五・五
燕麥	一六〇	小豆	二・〇
玉蜀黍	一〇		

三 農事指導

講習講話會、品評會審査、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

四 質疑應答

農事上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は一、一〇三名なり。

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手一八回五五日、助手一回三日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件数は、發送二三三件、接受一二〇件なり。

三 用地の整理

試験用地の土地改良竝に灌漑溝、排水溝の浚渫を行ひたり。

稚内試作場

第一 模範經營

本經營は、既往の試験及調査に基き、地方普通勞力を有する農家をして畑五町五反四畝歩、牧草地(採草地)一町八反歩、放牧地二町九反二畝歩、其の他一町四反六畝歩を經營せしめ、畑には飼料作物三町二反七畝歩、食糧作物一町二畝歩及販賣作物一町二反五畝歩を作付し、家畜耕馬二頭、乳牛五頭、豚二頭、兎一羽、鶏八羽を飼養せり。而して本年の氣候は概して適順ならざりしも、燕麥、甜菜及蕪菁の作況劣れる他は支障を認めず、家畜の成績亦良く、地力の増進により附近の農家に比し良好の成績を挙げ得たり。

第二 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
豊凶考照試験		一三		一四		七〇〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		六		九〇		二、二九九
耕種に関する試験及調査		一		八		二九四
其他の試験及調査		二七		五二		二、六三五
計		四七		一六四		五、九二八

當地方に於ける本年の氣候は、農期間に入り六月中旬迄は低溫寡照にして、爾後高溫多照となりしも降水量少なりし爲乾燥に失したり。七月上旬適濕を得て順調に経過せしも、八月以降は概して冷涼寡雨の天候を持続せり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物中燕麥、豌豆及秋播菜種は其の影響を蒙りて收量少なく、燕麥を除く其の他の麥類は生育概して順調なりしも成熟期に鳥害を認めたり。秋收作物にありては孰れも一時生育振はざりしも、爾後甜菜を除き一般に作況好進せり。而して玉蜀黍及蕎麥は再三風害を蒙り、又小豆は褐紋病の發生ありて減收を示したり。

- 本年度施行せる種類左の如し
- 一 豊凶考照試験（大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻）
 - 二 品種試験（秋播大麥、秋播小麥、玉蜀黍、蕎麥、馬鈴薯、秋播菜種）
 - 三 採種用黃花ルーピン播種期節節試験
 - 四 適否試験（水稻、ミブヨモギ、蔬菜、果樹）

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 採種用黃花ルーピン播種期節節試験

採種用黃花ルーピンの播種期節と採種量との關係を知らんが爲行ひたるに、五月上旬を播種適期とし、之より播種期の遅るるに隨ひ收量劣るを示し、六月に入り播種せるものは登熟不能なるを認めたり。

二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
品種改良に関する試験及調査		一		一〇		一五〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査

三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
品種改良に関する試験及調査		八		一〇三		二、一八七 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査		二		一四		三九五
肥料に関する試験及調査		二		一〇		二一〇
計		一二		一二七		二、七九二

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種試験（飼料用玉蜀黍、稗、飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、チモシー、赤クローバー）
- 二 牧草播種期節節試験（チモシー、赤クローバー）
- 三 牧草三要素試験（チモシー、赤クローバー）

四 土地改良に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
土地改良に関する試験及調査		三		一九		六、〇二三 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 春播小麦對心土改良に関する試験
- 二 土壤酸性矯正石灰用量試験（燕麥、豌豆）

五 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に関する試験及調査		二		一六		四八〇 <small>平方米</small>
肥效に関する試験及調査		一		三六		七六六
其他の試験及調査		一		一五		三三〇
計		四		六七		一、五七六

本年度施行せる種類左の如し

- 一 燕麥及馬鈴薯對窒素用量試験
- 二 綠肥用黄花ルーピン間作試験（燕麥）
- 三 馬鈴薯對堆肥用量試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 燕麥及馬鈴薯對窒素用量試験
稚内地方高丘地に於ける窒素用量は、燕麥は陌當六〇砵、馬鈴薯は陌當一〇〇施用のもの收量最も優るを認めたり。

六 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲に関する試験及調査		二		一		一

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手二八回八七日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件数は、發送四三四件、接受三九三件なり。

三 用地の整理

試験用地の心土改良竝に排水溝の浚渫、暗渠排水の敷設等を行ひたり。

美瑛試作場

第一 模範經營

本經營は、從來各試験機關に於て得たる試験及調査の結果を綜合應用し、上川高臺地方の畑作に對する合理的經營法を立案し、當場用地内に實際農家をして六町七反歩を耕作せしめ、以て地方に範を示すと共に、農家經營改善の資に供せんとするにあり。而して作物は販賣作物を栽培する他、食糧作物及飼料作物を栽培し、自給肥料を生産すると共に綠肥を栽培して地力の維持増進を圖り、自給自足の方針により穀菽農業組織を以て經營せしめたるに、本年の氣候順調なりしと合理的耕種肥培の結果、良好なる成績を收め、地方農家を裨益せるところ尠からざるを認めたり。

第二 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區数	面積	積
豊凶考照試験	一三	二一	一、二〇〇	一、二〇〇
品種改良に關する試験及調査	一九	一四八	四、〇三〇	四、〇三〇
其の他の試験及調査	二五	二五	四〇	四〇
計	五七	一九六	五、二七〇	五、二七〇

當地方に於ける本年の氣候は、融雪後曇雨天多く、氣温亦低かりしも、爾後は六月中、下旬高温多照にして一時乾燥に失したると秋季稍低温なりし他、農期間を通概して順調に経過せり。氣候前記の如かりしを以て麥類、豌豆、亞麻等の夏收作物は春季の乾燥並に七月中旬の降雨等の影響を受け平年に比し作況劣るを示せるも、秋收作物は夏季高温なりし爲順調に生育を了し、收量、品質共に良好なるを得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻）
- 二 品種試験（陸稻、秋播大麥、秋播小麥、春播小麥、菜豆、馬鈴薯、亞麻）
- 三 優良品種收量調査（裸麥、燕麥、秋播ライ麥、春麥ライ麥、玉蜀黍、粟、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯）
- 四 適否試験（ミブヨモギ、蔬菜、果樹）

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區数	面積	積
品種改良に關する試験及調査	一	一四	四〇〇	四〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區数	面積	積
品種改良に關する試験及調査	三	一四八	一、二〇〇	一、二〇〇
耕種に關する試験及調査	三	四八	二、四〇〇	二、四〇〇
肥料に關する試験及調査	二	二四	一、〇〇〇	一、〇〇〇
其の他の試験及調査	一	三四	一、八〇〇	一、八〇〇
計	九	一一八	五、七〇〇	五、七〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 苜科牧草品種試験
- 二 牧草種類試験（禾本科、苜科）
- 三 牧草播種量試験（チモシー、赤クローバー）

- 四 赤クローバー採種に関する試験
- 五 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
- 六 ルーサン収量調査

四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に関する試験及調査		三		二四		一、三〇〇
其の他の試験及調査		一		一六		四〇〇
計		四		四〇		一、六〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 馬鈴薯對窒素用量試験
- 二 馬鈴薯對磷酸用量試験
- 三 馬鈴薯對加里用量試験
- 四 馬鈴薯對堆肥用量試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 馬鈴薯對窒素用量試験
馬鈴薯に對する窒素用量は、陌當一〇〇疋迄施用量を増すに隨ひ収量増加するを認めたり。

- 二 馬鈴薯對磷酸用量試験
馬鈴薯に對する磷酸用量は、陌當一〇〇疋迄施用量を増すに隨ひ収量優るを認めたり。

五 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲防除に関する試験及調査		一		五		四〇〇
其の他の試験及調査		二		五		四〇〇
計		三		五		四〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豌豆莢蠹蟲防除試験
- 二 地方重要農作物病害蟲に関する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に関する調査(蔬菜及花卉)

第三 普及事業

一 見本作

試験に屬せざる各種作物を栽培し、事業上参考に資すると共に來觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
陸稻	一・八	大豆	四・〇
小麥	一五・二	小豆	二七・一
燕麥	二・七	菜豆	三三・三
蜀黍	一四・四	豌豆	一・二
粟	一・二	赤豆	二二・九
		馬鈴薯	〇・六

三 農事指導

講習講話會、協議會、品評會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめり。

四 質疑應答

農事上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

五 參觀人

本年度の參觀人總數は九四五名なり。

第四 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手一七回四四日、助手四回一〇日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件数は、發送四七三件、接受四二〇件なり。

三 用地の整理

防風林の整理、排水溝の浚渫等を行ひたり。

一 出 産

四 買 入

五 買 入

六 買 入

和寒除蟲菊試験地

第一 試験及調査

一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
品種改良に関する試験及調査		四		五九五		二、二三一
耕種に関する試験及調査		八		二三五		四、九〇九
計		一二		八三〇		七、一四〇

當地方に於ける本年の氣候は、融雪後氣温概して冷涼なりしも、後氣温上昇し、六月中、下旬に於ては高温多照の天候を持續し稍乾燥に失せるが、爾後適濕を得て概して平順に経過せり。而して萌芽期は五月十日にして前年と大差なかりしも、過乾の影響を受けて生育を阻碍せられたる傾向あり、七月上旬開花期に達し、同月中旬刈取を了し、爾後雨天持續せるも故障なく收納せり。刈取後秋季に於ける萌芽良整にして生育亦良整なりき。

本年度施行せる種類左の如し

一 品種及系統の保存

- 二 品種特性調査
- 三 系統分離に關する試験(一世代二年目及系統選拔豫備試験)
- 四 種子選種法に關する試験
- 五 播種量に關する試験
- 六 間引距離試験
- 七 播種期に關する試験
- 八 假植試験
- 九 栽植密度對施肥用量試験
- 一〇 收穫期試験
- 一一 栽培年次の收量及除蟲菊有效成分に及ぼす影響に關する試験
右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 種子選種法に關する試験
除蟲菊種子の適當なる選種法を知らんが爲行ひたるに、三日乃至四日間水に浸漬し沈下せる種子を播種せるときは發芽良好となり特に三日間之を行ひたるもの發芽最も良好なるを認めたり。
- 二 播種量に關する試験
除蟲菊種子の適當なる播種量を知らんが爲行ひたるに、撒播、條播孰れの場合にありても、一・五坪當三・二匁播種せるものは單位面積よりの良苗生産數最も多きを認めたり。
- 三 播種期に關する試験
除蟲菊の適當なる播種期を知らんが爲行ひたるに、五月十日頃播種するもの最も單位面積より生産し得る良苗數多きを認めたり。
- 四 間引距離試験

二 土壤肥料に關する試験及調査

五 畦幅株間距離試験
苗床に於ける適當なる立毛密度を知らんが爲行ひたるに、一寸六分四方一本立を適當とするを認めたり。
除蟲菊に對する適當なる畦幅株間の距離は、畦幅一・五尺株間一・〇尺にして乾花收量最も多きを認めたり。

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種數	區	數	面積	積
土壤に關する試験及調査		三		四四		二、四九一
肥料に關する試験及調査		五		八一		二、四九一
計		八		一二五		二、七〇五

本年度施行せる種類左の如し

- 一 土性に關する試験
- 二 土壤反應に關する試験
- 三 三要素適量試験
- 四 堆肥施用量に關する試験
- 五 肥料施用期試験
- 六 窒素質肥料肥效比較試験
- 七 肥料配合試験

八 地力減耗比較試験

三 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲防除に關する試験及調査		一		六〇		一、四八八
其の他の試験及調査		二		一		一、四八八
計				六〇		一、四八八

本年度施行せる種類左の如し

- 一 除蟲菊萎縮病防除試験
- 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査

第二 普及事業

一 質疑應答

除蟲菊栽培に關し書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

二 參觀人

本年度の參觀人總數は三九〇名なり。

第三 其の他

一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手八回四五六日、助手四回一七日なり。

二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送五三件、接受一五五件なり。

三 用地の整理

木柵の修理及排水溝の浚渫等を施行せり。

原種圃

一 米原種圃

本原種圃は、第七期原種配付計畫に基き、水稻一四品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種數	栽培面積	生産數量	配付數量
水稻	一四	二九・〇三 ^反	八一・九一五 ^石	五六・三九〇 ^石

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

二 小麥原種圃

本原種圃は、小麥増殖計畫に基き、秋播種三品種及春播種一品種を農事實行組合に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種數	栽培面積	生産數量	配付數量
秋播種	三	〇〇・七〇 ^反	一七・七五 ^石	一五八・〇四 ^石
春播種	一	九二・〇〇	一〇三・四一五	九〇・九〇〇
計	四	一九九・〇〇	二七五・一六六	二四八・九四二

備考 秋播小麥は昭和十二年播種のものなり。

三 麥原種圃

本原種圃は、第六期原種配付計畫に基き、燕麥二品種及裸燕麥一品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種數	栽培面積	生産數量	配付數量
燕麥	二	一二・五〇	四一・〇〇	一八・六七
裸燕麥	一	五・〇〇	二・七〇	二・四五
計	三	一七・五〇	四三・七〇	二〇・九二

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

四 雜穀原種圃

本原種圃は、第六期原種配付計畫に基き、大豆五品種、小豆三品種及豌豆一品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種數	栽培面積	生産數量	配付數量
大豆	五	二二・四〇	九一・六〇	八・〇三
小豆	三	八・〇〇	八・二五〇	三・三六
豌豆	一	二・〇〇	二・九八〇	一・〇二〇
計	九	四二・四〇	一〇二・八三〇	一二・四一

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

五 蕎麥原種圃

本原種圃は、第六期原種配付計畫に基き、蕎麥一品種の原種を郡市農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種數	栽培面積	生産數量	配付數量
蕎麥	一	二五・〇〇	二一・〇〇	一五・三六

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

六 重要作物原種圃

本原種圃は、前年に繼續して冷害対策原種配付計畫に基き、菜豆二品種、玉蜀黍二品種、黍一品種及薄荷一品種の原種を町村農會を経て農事實行組合に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品種數	栽培面積	生産數量	配付數量
菜豆	二	一〇〇・〇〇	九四・〇四	九二・三六
玉蜀黍	二	一九・〇〇	二五・八三	一五・九八

黍	二	一三・〇〇	四・八五〇	四・九〇
薄	二	二五・〇〇	三・七五〇	三・七〇
計	六	一四七・〇〇	一三・四七二	一三・四三五

備考 配付数量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

六 養蚕採種圃

五 養蚕採種圃

採種圃

一 菜種採種圃

本採種圃は、第二期種子配付計畫に基き、秋播種二品種の種子を農事實行組合に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品 種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
秋播菜種		二	二〇・〇〇反	二六・七三〇石	一八・〇三六石

備考 配付數量は配付計畫に基き配付せるもののみなり。

二 綠肥採種圃

本採種圃は、綠肥種子配付計畫に基き、ペツチ及赤クローバーの種子を郡農會に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

作物名	品 種	數	栽培面積	生産數量	配付數量
ベツチ		一	六・〇〇反	一・九五六石	一・五〇〇石
赤クローバー		一	五四・〇〇	一・七五四石	一・五〇〇石
計		二	六〇・〇〇	一・九五六石	一・五〇〇石

養成圃

一 自家用果樹苗木養成圃

本養成圃は、本年度の創設にして農家自家用果樹苗木栽培奨励計畫に基き、梨二品種、苹果三品種、李一品種、杏一品種、梅一品種、葡萄三品種及須具利、總須具利各一品種の苗木を市町村農會を経て指定の農事實行組合各戸に配付せんが爲、之が生産を行ひたり。其の栽培面積、生産及配付數量左の如し

種類名	品種	數	栽培反別	生産數量	配付數量
梨		二	九〇〇 ^反	二七、四〇〇 ^本	二七、三七八 ^本
苹果		三	八〇〇	九六五〇	九六五〇
李		一	一〇〇	二、〇五三	一、七二〇
杏		一	一〇〇	二、二九七	二、一七五
梅		一	二〇〇	七、三六六	七、三六六
葡萄		三	五四九	三三、三〇〇	三三、一六九
須具利		一	〇、五〇	二、二五〇	一、五二八
總須具利		一	〇、五〇	二、〇五〇	一、五一七
計		一三	二七、四九	七六、三六六	七三、四九五

採種圃監督

郡市農會採種圃の經營に對し、場員をして六回三六日に互り出張せしめ、指導監督を行はしめたり。

採種圃監督

原蠶種製造

二一八

本事業は本道に於ける蠶種製造者に原蠶種を供給せんとするにありて、本年度に於て掃立てたる蠶品種は歐洲種一、歐々固定種二、日支歐固定種一、一化性支那種一、一化性支々固定種一、二化性日支固定種一、二化性日本種一、二化性支々固定種一、二化性支那種一にして、其の製造蛾數七、三二八蛾、内六、四四〇蛾を配付せり。尙、原蠶種に供せる餘剰を以て、奉蠶竝に夏秋蠶用普通蠶種八八〇瓦を製造し配付用に供せり。

模範果樹園

模範果樹園

本事業の目的は、果樹園經營上の範を實地に示さんとするにありて、渡島支場用地内に於て、經營面積八反歩に苹果、和梨、洋梨、櫻桃、葡萄等を栽培し、尙、是等の樹間を利用して小果樹を栽培せるに、洋梨及和梨は前年の雪害により新に補植し或は高接を行ひたる等の爲、本年も亦充分なる結果を見られざりしも、農期間の天候概して適順にして、殊に夏季に高温に恵まれしを以て、略所期の收穫を擧げ得、地方當業者に對し適切なる果樹耕種肥培技術の運用は果樹園經營上如何に有利なるかを目堵せしめ、啓發せるところ大なりき。

農林省第五本隊產品部畜産科畜産課

二一九

農林省指定水稻新品種育成試験

本試験は農林省指定に係り、其の目的は高緯度又は寒冷地帯に適する早熟品種を育成せんとするにありて、上川支場に於て施行せり。而して本年の天候は六月中旬前期迄は氣温低冷不順なりしも、爾後は頓に氣温上昇し順調なる天候持續せるを以て作況一般に良好なりき。

本年度施行せる試験の種類左の如し

試験の種類	交配組合せ数	系統又は品種数
交配操作	三〇	—
雜種第一代養成	三七	—
雜種第二個體選抜試験	三一	—
系統育成試験	五二	一、一七〇
系統生産力檢定試験	二五	、四八
系統特異性檢定試験	一〇	四一
系統保存栽培	六	三〇
系統第一代第二代	六八	—
小計	九三	二、一六四

農林省指定小麥育種地方試験

本年度施行せる試験の概要左の如し

試験施行箇所	種類	数	區	数
北海道農事試験場(本場)		二〇		三、〇七九
北海道農事試験場北見支場		七		六〇四

本試験は農林省指定に係り、其の目的は耐病性、耐寒性、多收、早熟及良質なる優良品種を育成せんとするにあり。而して本年の氣候を見るに、六月は天候著しく乾燥に失せる爲早害を被り、加ふるに七月に入り高温多濕にして麥類赤黴病の發生ありしを以て、收量、品質は平年に比し稍劣るを示せり。

一本場

甲秋播小麥

試験の種類	供試品種又は交配組合せ数	栽植個體又は系統数
品種試験		
保存	四三九	—



試験の種類	供試品種又は交配組合せ数	栽植系統	数
新品種育成試験			
雜種第三代系統及個體選抜試験	七		三〇九
雜種第四代以後系統育成試験	二一		一九九
育成系統特性鑑定試験	一五		二四
育成系統生産力検定豫備試験	九		一四
育成系統生産力検定試験	一五		二四

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 育成品種 一品種（春蒔小麦農林二九號）

本品種は「早生小麦」を母とし「春蒔小麦農林三號」を父として育成せるものにして、特に倒伏竝に夏季の雨害を被り易き地帯に適す。其の特性は、「春蒔小麦農林三號」に比し早熟、短稈にして且莖稈強剛なるを以て、倒伏及麥類赤黴病の被害少なし。穂は稍短きも穂型は棒状にして太く、穂發芽し難し。「春蒔小麦農林三號」に比し製粉歩合竝に含鉄量少なきも、一週間餘早熟にして、收量甚だ多き特異性を有す。

昭和十四年三月二十日印刷
昭和十四年三月三十日發行

北海道農事試験場

札幌郡琴似村

印刷者 札幌市南二條西五丁目廿六番地 金井恒喜

印刷所 札幌市南二條西五丁目廿六番地 其水堂金井印刷所 電話一七〇二番

14·2¹
801

終